

ZEPHYROS

ゼフュロス No.47

The National Museum of Western Art, Tokyo 国立西洋美術館ニュース

ISSN1342-8071



大英博物館 古代ギリシャ展

究極の身体、完全なる美

THE BODY BEAUTIFUL IN ANCIENT GREECE FROM THE BRITISH MUSEUM

会期：2011年7月5日(火)～2011年9月25日(日)

大英博物館 古代ギリシャ展 究極の身体、完全なる美

THE BODY BEAUTIFUL IN ANCIENT GREECE FROM THE BRITISH MUSEUM



《赤像式キュリクス（酒杯）：幅跳び》

前510年頃 陶器 高さ13.3cm

©The Trustees of the British Museum

この小冊子の表紙を飾る《円盤投げ（ディスコボロス）》の起源は、約2500年前の古代ギリシャにさかのぼります。当時、紀元前5世紀半ばのアテネでは、アクロポリスの丘にパルテノン神殿が建てられ、街の広場でソクラテスが哲学談義をし、劇場ではギリシャ悲劇が催されていました。まさにこの時代、今日でもなお尊ばれ、称えられ、そして愛され続けるギリシャ文化が、最も美しく輝いていたのです。本展では、その輝きの一つである《円盤投げ》が、ついに私たちの目の前に姿を現します。

《円盤投げ》のオリジナル作品は、彫刻家ミュロンがブロンズで制作しました。今回出品される大英博物館のギリシャ・ローマコレクションの至宝《円盤投げ》は、2世紀の古代ローマ時代に作られた貴重な大理石コピーです。この《円盤投げ》に代表さ



《役者の小像》

前1世紀 テラコッタ 高さ11.2cm

©The Trustees of the British Museum

れるギリシャ彫刻の数々の「ローマン・コピー」は、ギリシャ美術が後世におよぼした絶大な影響を物語っています。その魅力に圧倒されたのはローマ人たちばかりではありません。さらに一千年以上後のルネサンス時代には、たとえばボッティチェッリの描いた裸体のヴィーナスをご覧になればわかるように、ローマ文明に媒介されたギリシャ美術が芸術家たちの制作のよりどころとなりました。そして現代でも、多くの人々を魅了する西洋美術の美の源として、ギリシャ美術の命は尽きることがありません。

本展では、大英博物館のコレクションから厳選された彫像や壺絵など全135点を紹介します。そのほぼすべてが、人間の「身体」を表しています。ギリシャ人にとって、人間の身体は同時に神の身体でもありました。しかも神であるからこそ、身体は美しくな



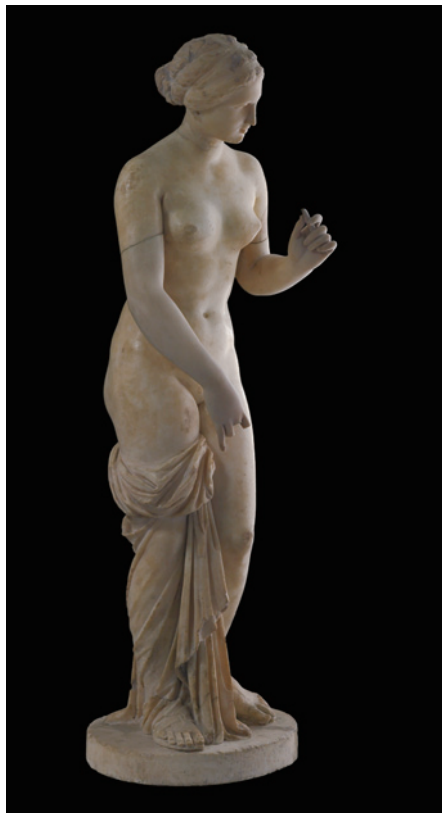
《エロス（キューピッド）像》
後2世紀 大理石 高さ60.5cm
©The Trustees of the British Museum

ければなりません。そして美しい身体は、卓越した人物たち—勇敢な戦士や優れたアスリートたち—の外見に求められたのです。

ギリシャにおいても、美の表現は時代とともに変わります。裸体は男性だけでなく女性でも表現されるようになりました。性別や年齢を超えた理想的な相貌は、やがて老いや醜さのような現実をも赤裸々に写し出すようになりました。

身体表現をめぐるギリシャ人が残した偉大な足跡をたどる本展が、皆さまにとって、ギリシャの美をご堪能しつつ、数千年の時をやすやすと飛び越える人類の文化に秘められたパワーを少しでも感じる場となるならば幸いです。

（国立西洋美術館研究補佐員 飯塚 隆）



《アフロディテ（ヴィーナス）像》
ローマ時代（原作：前4世紀） 大理石 高さ107cm
©The Trustees of the British Museum

表紙《円盤投げ（ディスコボロス）》
後2世紀（原作：前450-440年頃）
大理石 高さ169cm
©The Trustees of the British Museum

大英博物館 古代ギリシャ展 究極の身体、完全なる美

一般 1500円（1100円）
大学生 1200円（800円）
高校生 700円（500円）
中学生以下…無料

*（ ）内は20名以上の団体料金

会期：2011年3月12日（土）～2011年6月12日（日）

小企画展「奇想の自然—レンブラント以前の北方版画」



ルカス・クラナハ（父）《聖アントニウスの誘惑》
1506年 木版画



フィリップ・ハレ《賢い乙女と愚かな乙女のたとえ》
（ピーテル・ブリューゲル原画）
1560-61年頃、エングレーヴィング

「奇想の自然—レンブラント以前の北方版画」は、国立西洋美術館の所蔵作品で構成された小企画展です。当館では、常設展会場の一角にある版画素描展示室（新館2F）を使い、こうした小企画を毎回違ったテーマのもとで継続的に行っています。今回は同時期に「レンブラント光の探求／闇の誘惑」という17世紀オランダの画家を紹介する大規模な展覧会が開催されていますので、近世の北方芸術に対する関心が一層深まればと考え、「レンブラント以前」の北方版画を扱うことにしました。

さて、フランドルやドイツなど、アルプス以北の地域で活動した近世の芸術家たちは一般に、「自然」の外観を忠実に再現することに長けていたといわれます。人体表現を芸術の基礎に据えたイタリアの美術家に対して、北方の画家たちは早くから風景表現を発達させるなど、自然の対象を見つめることに敏感だったので

す。ただし、そこに描き出されたイメージの多くは、ただ目に映る自然を写しとったものというより、画家たちによるファンタジーを織り込まれた想像的な世界でもあったはずです。とくに本展が対象とする版画という媒体には、絵画や彫刻に比べて大衆的な欲望が強く渦巻いていました。そうしたメディアにおいては芸術家たちも、自身の「奇想」をより率直に発揮しやすかったというべきかもしれません。ルカス・クラナハ、ハンス・バルドゥング・グリーン、ピーテル・ブリューゲルをはじめとする北方の版画家たちの作品には、「奇想」が「自然」と化するような独特の表現が見られます。当館の所蔵作品を通じて、そのようなイメージ世界の魅力に触れていただければ幸いです。

（国立西洋美術館研究員 新藤 淳）

*企画展観覧券、または常設展観覧券でご覧いただけます。

2010年度新収蔵作品

ジョヴァンニ・パオロ・パニーニ

《古代建築と彫刻のカプリッチョ》

ジョヴァンニ・パオロ・パニーニ
ピアチェンツァ1691-ローマ1765
《古代建築と彫刻のカプリッチョ》
油彩、カンヴァス 98.4×135cm

パニーニは1691年にピアチェンツァで生まれ、20歳でローマに移り、1718年頃からローマの画家アカデミーで幾何学遠近法の教鞭をとりました。彼の作品は、派手な遠近法を駆使しながら、そこに優美な人物像を配置したローマの都市景観図や古代遺跡の景観を取り入れたカプリッチョ（現実と空想が融合した風景画）、さらには祝祭記念画などを特徴として、フランス王室やスペイン王室をはじめとして、

ヨーロッパ各国で人気を博しました。またパニーニは1754年にローマの画家アカデミーの第58代総裁に推挙され、その翌年にはローマのフランス・アカデミーの総裁にも推挙された、18世紀半ばのローマで極めて重要な役割を果たした画家です。ピラネージとも親交の深かったパニーニは、17世紀以来の古代遺跡や文物をモチーフとした景観画のジャンルを最も成熟させた画家で、ユベール・ロベールもローマ滞在の折に彼の薫陶を受けた画家のひとりです。

この作品は、北ウエールズの初代ペンライン男爵のコレクションに1860年頃に入った後、ペンライン男爵、ダグラス＝ベナント家が代々所蔵していた由緒ある作品です。作品そのものはパニーニが最も精力的に活動をしていた1745年から50年頃にかけて制作されたものと考えられ、いわゆるカプリッチョながら非常に独創的な構図と内容とな



っています。画面中央には「ファルネーゼのヘラクレス」として知られるヘラクレス像、その奥には現在ルーヴル美術館に所蔵される《通称キンキンナートゥス像》、画面中央奥には《聖コンスタンツァの石棺》、画面右奥には《ヤヌス・クワドリフロンス門》などの古代遺跡や彫像が描かれています。一方でヘラクレス像に向かって何かを話しかけている中央の白いトガを着た人物は哲学者ディオゲネスで、ヘラクレス像相手に物乞いをして、周囲の兵士に冷やかされている場面を表わしています。

（国立西洋美術館主任研究員 高梨光正）

常設展

観覧料 一般 420円（210円）

大学生 130円（70円）

小・中学生・高校生及び18歳未満、65歳以上、心身に障害のある方及び付添者1名は無料

（入館の際に学生証または年齢の確認できるもの、障害者手帳をご提示ください。）

*（ ）内は20名以上の団体料金

EVENT イベント

大英博物館 古代ギリシャ展 究極の身体、完全なる美
展覧会に関連して次のプログラムを実施いたします。ぜひご参加ください。

講演会

2011年7月5日(火)14:00~15:30

イアン・ジェンキンズ（大英博物館ギリシャ・ローマ部シニアキュレーター）※同時通訳つき
「古代ギリシャ美術と社会における人間の身体について」

2011年7月23日(土)14:00~15:30

青柳正規（国立西洋美術館長）
「ギリシャ人の男性美と女性美」

2011年9月3日(土)14:00~15:30

芳賀京子（東北大学准教授）
「ギリシャ彫刻の見方～古代の人々のまなざし」

会場：国立西洋美術館講堂（地下2階）
定員：各回先着140名（聴講無料。ただし聴講券と本展の観覧券が必要です）
参加方法：当日**12:00**より、館内インフォメーションにて、本展の観覧券をお持ちの方お一人につき一枚聴講券を配付します。会場へは開演の30分前からご入場いただけます。

スライドトーク

展覧会のみどころや主な作品についてスライドを使って解説します。

日時：**2011年7月15日(金)、
8月12日(金)、8月26日(金)、
9月9日(金)**
毎回**11:00~(約40分)**

会場：国立西洋美術館講堂
解説者：飯塚隆
（本展担当者、国立西洋美術館）
定員：各回先着140名（聴講無料。ただし本展の観覧券が必要です）
※直接講堂にお越しください（開場時間は各日とも開演の30分前）。

※講演会等の内容は急きょ変更となる場合があります。最新の情報は、当館ホームページ等でご確認ください。

Museum shop ミュージアム ショップ

新商品

●マイ・ミュージアム・カード 封筒付 210円 (税込み)

モネ、ゴッホ、ブリューゲルなど、国立西洋美術館の名画24点に、解説文がついたグリーティングカードが登場しました。

絵画の画像をデジタル調整し、高品位プリントで出力。館内で展示されている作品の色合いを忠実に再現しています。英語解説版もご購入いただけます。



ミュージアムショップ内のiPadを操作してご購入いただけます

Cafe カフェすいれん



「大英博物館 古代ギリシャ展
究極の身体、完全なる美」特別メニュー

期 間 2011年7月5日(火)～9月25日(日)

●ギリシャ風ミートボール(ユウレラキア) すいれん仕立て 1,260円 (税込み)

ギリシャ料理のユウレラキアを、すいれん風に仕上げました。ミントの葉が、初夏らしい味のアクセントになっています。

●ギリシャワイン ヘラクレス 4,000円 (税込み) ボトル

ギリシャの赤ワイン、ヘラクレス。お肉料理を引き立てます。

チケット売場、館内施設(常設ミュージアムショップ、カフェすいれん)でSuica、各種クレジットカードがご利用いただけます。(ただし、一部除品がございます。) 詳細については、当館HPをご覧ください。

展示カレンダー [企画展示/常設展示] 2011年5月～2011年10月

休 館 日 土・日・祝日

MAY 5 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

レンブラント 光の探求／闇の誘惑
(企画展示室) 3月12日(土)～6月12日(日)

「奇想の自然－レンブラント以前の北方版圖」(版画素描展示室) 3月12日(土)～6月12日(日)

JUN 6 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30

レンブラント 光の探求／闇の誘惑
(企画展示室) 3月12日(土)～6月12日(日)

「奇想の自然－レンブラント以前の北方版圖」(版画素描展示室) 3月12日(土)～6月12日(日)

JUL 7 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

大英博物館 古代ギリシャ展 究極の身体、完全なる美
(企画展示室) 7月5日(火)～9月25日(日)

AUG 8 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

大英博物館 古代ギリシャ展 究極の身体、完全なる美
(企画展示室) 7月5日(火)～9月25日(日)

SEP 9 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30

大英博物館 古代ギリシャ展 究極の身体、完全なる美
(企画展示室) 7月5日(火)～9月25日(日)

OCT 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

プラド美術館所蔵 ゴヤ 光と影
(企画展示室) 10月22日(土)～2012年1月29日(日)

※展覧会名、会期、内容等は変更されることがあります。

※作品の保存・貸し出し等の状況により、掲載された作品をご覧いただけない場合がございます。

●常設展示

ロダンの彫刻と、中世末期から18世紀末頃までのオールド・マスターの絵画、モネ、ルノワールなどのフランス近代絵画と20世紀初頭までの絵画を展示しています。(展示作品については、館内インフォメーションでおたずねいただくか、当館ホームページをご覧ください。)

●お知らせ

5月17日(火)～6月12日(日)は休まず開館いたします。

開館時間等は変更になる場合があります。最新の情報は、下記問い合わせ先でご確認ください。

国立西洋美術館

- 所在地…〒110-0007 東京都台東区上野公園7-7
- 開館時間…午前9時30分～午後5時30分
(ただし、秋の企画展開会日以降の開館日から春の企画展開催日までの開館期間中＝午前9時30分～午後5時)
- 休館日…月曜日(ただし、月曜日が祝日あるいは振替休日となる場合は翌火曜日)、2011年10月21日(金)
※2011年5月23日(月)、5月30日(月)、6月6日(月)、8月15日(月)は開館します。
※その他、臨時に開館・休館することがあります。
- 常設展無料観覧日…毎月第2、第4土曜日、文化の日(11月3日)
- お問い合わせ…ハローダイヤル:03-5777-8600

<http://www.nmwa.go.jp/>

※誌名について…「ZEPHYROS」(ゼフェュロス)はギリシャ神話の神々のひとりで、西風を司る神様の名前です。西欧では暖かさや色ざまざまの花々を運ぶ春の風をさします。

ZEPHYROS

ZEPHYROS 第47号

編集・発行 国立西洋美術館/平成23年5月20日(年4回発行)
協力(財) 西洋美術振興財団
印刷(株) アイネット



国立西洋美術館
The National Museum of Western Art